



今月号の表紙は、菱池保育園遊戯室で行われた「パパとあ・そ・ぼ!!」子どもたちだけでなく、一緒に遊んでいたお父さんたちもすごくいい笑顔でした。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線323)
FAX63-5139



フットサル 「深溝FC」

私たち「深溝FC」は3年前から活動を始めたフットサルチームです。

簡単にフットサルの説明をすると、40m x 20mのコートを使い、1チーム5人で行ういわゆる「ミニサッカー」です。しかし、ゴールの大きさ、ボールの大きさ・跳ねかたなどがサッカーとは少し違います。

私たちのチームは当初中学時代の同級生ばかり10人ほどのチームでしたが、現在では輪も広がり約20人で活動しています。中には40代・50代のかたもいます。サッカー経験者

は5・6人でレベルは高くありませんが、みんなが楽しみながらプレーしています。練習は月に2・3度日曜日に深溝小学校の体育館で行っています。試合に出場したり、練習試合を行ったりして力をつけています。

フットサルはサッカーに比べ運動量も多くなく、人数も少ないために手軽に楽しめます。運動不足だと思っているかたにもおすすめです。

現在、練習試合をしていただけるチームを探しています。

代表者 鈴木伸康 62-1214

この欄に掲載希望のサークルは、はがきにサークル名と連絡先、活動内容を簡潔に書いて企画情報課へ。おってご連絡します。

「封切り」は手紙などの封じ目を切ることで、現在では新作品の初公開の意味に使われています。

江戸時代には、最初の何枚かを白紙で袋状に封じた新刊本があり、これを切って読む本は「封切り本」と呼ばれました。

映画の場合も、輸入フィルムの手紙を切るから本日封切りといった表現が生まれました。

「封切り」と一字違いの言葉に「封印切り」があります。これは、近松門左衛門原作の歌舞伎狂言「恋飛脚大和往来」のハイライトシーンを指します。「封印」とは不当に開けられないように封じ目を押された印。遊女梅川になじんで金に窮した亀屋忠兵衛が、金を借りた丹波屋八右衛門にのしられ、預かり金300両の封印を切ったたきつけるという大罪を犯します。忠兵衛と梅川が雪の大和路を郷里新口村をさして落ちていくこの悲劇は、当時話題呼びました。

いわば「封印切り」の「封切り」だったわけです。

サークル紹介

この指とーまれ

96



【生け花】
中根 光子さん

みんなの作品展!



【盆栽】
菅沼 敏昭さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

「封切り」

どんな意味?
どんな意味!!

「封切り」は手紙などの封じ目を切ることで、現在では新作品の初公開の意味に使われています。



青春トークリレー

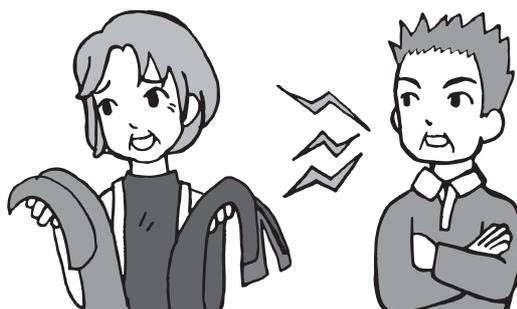
第165走者

くろの まさつぐ
黒野 正嗣さん

坂崎区在住 21歳 大学生
身長 170cm A型
好きなタイプ 明るい人
好きな芸能人 絢香

こんにちは。僕は今、名古屋の大学に通っています。週末には、地域の人たちとスポーツを楽しんでいます。そんな感じで幸田町の豊かな自然と温かい人たちに囲まれて毎日いろいろなことを学びながら楽しく生活しています。

これからは、就職活動が始まるので、真剣に将来のことを考えていきたいです。



何を片付ける時は、大事なものがいっぱい出てくるってことでしょう。片付けするのを楽しみになっちゃったわ。

11月の半ば頃から一気に寒くなってきました。もう12月なんですね。今年も残り1ヶ月。年賀状の準備はいかがですか？最近、賀状よりeメールが増加しているようです。年賀状の発行数も40億枚から38億枚と年々減っています。おまけに手書きなんてホントに少なくなりましたよね。パソコンとプリンタ、おまけに画像も色々出回っています。あの年に毎年出そう、まだ出そう、今年が最後、出すのをやめよう、迷い時です。でも出さなくなったらお付き合いも終わりがち。(T)

今月の特集は写真で振り返る幸田町の1年。特集を作りながら写真を整理してみると、今年1年でいろいろなイベントを写真に収めてきたことに気がきました。広報は、皆さんに情報を伝える重要な手段の一つです。そして、記事をより多くの人に読んでもらうためには、良い写真を掲載することが必要です。今後も広報作成を続けていく中で、写真を撮る機会が多くなると思います。より良い写真を撮れるように努力を続けていきたいと思っています。(D)

ちよと
編集者のひびく

はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



先日、会員さんの同志である夫婦でこんなやりとりがあったそうです。
「おい、おまえ。俺のあの服をどこへ片付けた。服の中に金を入れておいたんだ」
「私はどこにもやりません。あなたがどこかへ置き忘れたんではよ」
「何を言うか。俺はまだそこまでほけとらん、絶対お前がどこかへ片付けたんだ!!」

ポケと勘違い

の巻

「何言ってるんですか。この間も眼鏡を頭にかけて眼鏡が無いと探して探して、電話だって番号を間違えてかけてたでしょ。このごろちよくちよくさういうことがあるみたいだし、そろそろ始まってきたんじゃないの?」
「あれは勘違いだ!!勘違いとポケを一緒にするな!!」
「でも、あんたみたいに自分で片付けた場所まで忘れるようじゃ仕方ないでしょ。大事なものは早く私に預けなさい」
「自分できちんとしておくのがなせ悪い。俺はたまには忘れるがしまい上手だ」
「そんなこんなで、けんかになっちゃったけど、よく考えたから主人のもの

生きがい
ヤンターだより
「某月某日」